

在宅医療出前講座 アンケート集計

上手にあの世に逝くために

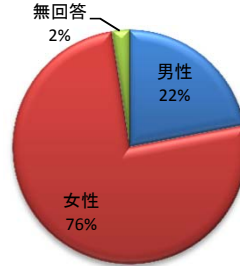
平成29年 5月25日 境港市文化ホール（ソフォニガーデン）

講師 野坂 美仁先生(野坂医院)

回収率 80%(241人/303人)

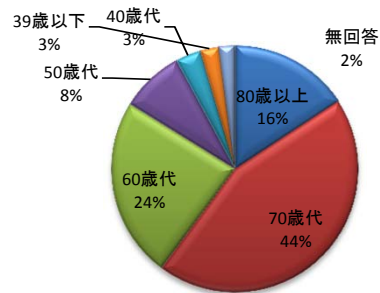
★ 性別

	件数	割合
男性	53	22%
女性	182	76%
無回答	6	2%
合計	241	100%



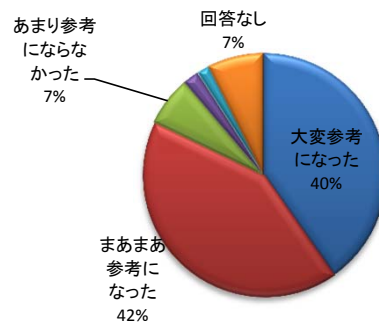
★ 年齢

	件数	割合
80歳以上	38	16%
70歳代	107	44%
60歳代	57	24%
50歳代	20	8%
40歳代	8	3%
39歳以下	6	2%
無回答	5	2%
合計	241	100%



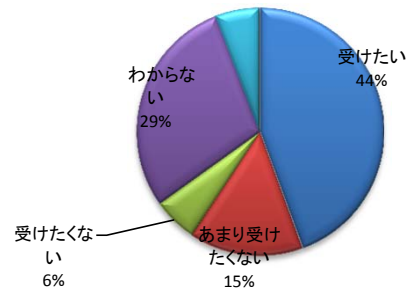
★ 講演はいかがでしたか。

	件数	割合
大変参考になった	97	40%
まあまあ参考になった	101	42%
あまり参考にならなかった	16	7%
難しかった	5	2%
わからない	4	2%
回答なし	18	7%
合計	241	100%



★ 在宅医療を受けられますか。

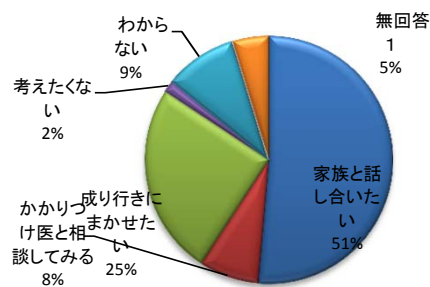
	件数	割合
受けたい	107	44%
あまり受けたくない	36	15%
受けたくない	14	6%
わからない	70	29%
無回答	14	6%
合計	241	100%



★ 自分の逝き方について

(複数回答あり)

	件数	割合
家族と話し合いたい	131	51%
かかりつけ医と相談してみる	20	8%
成り行きにまかせたい	64	25%
考えたくない	4	2%
わからない	24	9%
無回答	12	5%
合計	255	100%



平成29年 5月25日 境港市文化ホール (ソフォニガ デ)

講師 野坂 美仁先生(野坂医院)

回収率 80%(241人/303人)

自由記載覧

今日の講演のご感想や今後この講座で聞いてみたい内容、その他、西部医師会へ聞いてみたい事など何でも結構ですので、ご自由にお書きください。

- ・施設で働いていますが、施設での看取りも考え方としては、在宅と同じだと思いました。
- ・自分自身も上手にあの世へ逝きたいと思いました。
- ・今日の講演会はとても良かった。ありがとうございました。
- ・私は一日一生をもっとうにしていますので、一日を大切により多くの人々と調和し、明るく楽しく生きています。
- ・終わり良ければ全て良しで、いつお迎えが来ても後悔しません。
- ・死んでも死なない命があることを知っていますので、不安はありません。
- ・安心手帳三冊目です。色々な処に置いておこうと思います。
- ・大変良かったです。
- ・いいお話を聴かせていただき、ありがとうございました。
- ・これからは、自分の勝手に生きていこうと決めています。
- ・根拠の無い自信で、うまくやれると思っています。
- ・近くの先生(医師?)にお世話になると思います。
- ・今、近所の皆で、幸せに過ごすことを一番に時間を過ごしていきたいです。
- ・特になし、講演聴取して良かった。感謝。
- ・あらためて、不治かつ末期の時、救急車を呼ばない。
- ・最低限の痛みをとって貰うこと。
- ・自己決定が大事だと思いました。
- ・在宅介護を現在行っていますが、現在通院中、動けなくなると往診はされる様です。
- ・緊急時は往診はしていない様子です。
- ・在宅医療にもっと積極的に係わる医師を増やして欲しいと思います。
- ・元気なときこそ考える事がまだ受け入れられない。
- ・話はだいたい分ったが、在宅医療に関してもっと学習したい。
- ・今後も市内の医師(開業医)の講演を希望したい。
- ・今後もこの様な講座を開催して欲しい。
- ・75歳ですが、これから1年1年を大切に生きて行きます。
- ・人間関係を常に大切にしております。
- ・在宅医療の仕事をしています。この様な講演会を聞く機会がもっと増えるといいと思います。
- ・あんしん手帳ありがとうございました。
- ・家族と話し合いはしておりますが、記しておこうと考えていたところでした。
- ・その場に直面して、当人がどう考えていたのか分からないのが、家族の一番の不安であり、決断を阻害する要因だと思います。だから、標準的な医療機関で安心する傾向なのではないでしょうか。
- ・とてもいいお話でした。

・病院受診は時々行っているが、かかりつけ医を決めていないので、病状が悪化したら、かかりつけ医を決めたいと思っています。

・在宅医療を望むが、子供たちの迷惑になるのではと思うと、施設に入居した方がいいのかとも思う。

・ぜひ、今回の講演会の内容を地域の高齢者へ伝える事業をして欲しい。(公民館単位、ふれあいの家単位など)

・医者はPPKいつまでも元気、健康のため、病気になる指導が大切ではないか。

・安楽死制度があったら良いと思う。

・家族と十分に話し合いを行い、最後の看取りたいと思います。

・団塊世代なので、とても参考になる話でした。

・今後もこういう講演会を開いて欲しいです。

・少し気楽に生きて行こうと思う様になった。

・在宅医療介護に人員を回すなど環境をまず整える事が大切だと思う。

・医療医療と言いながら、又遠い昔の生活に戻るんですね。私は姑を家で看取りました。でも、今の嫁が見取ってくれるかは分かりません。

・在宅の逝き方のすすめを紹介するように見受けました。

・今は病院を死の場所とは思わずにさせていただきたいと思います。

・自分の考え通りにして欲しい。(延命無し。葬儀無し。)

・良い講演会でした。また来ます。

・最近、叔母95才を同居の娘夫婦と姪の私と三人でベッドの両サイドから手を握りながら看取り出来たことは、今日の講演の愛されていること(幸せに逝けること)と同感です。

・ありがとうございました。

・在宅でも緩和ケア病棟でも可能な看取りです。

・とても良い話でしたが、日曜、夜中など医者を呼んでもいいものか、救急車を呼んだ方がいいのか、どのようなものだろうか迷っています。

・在宅になると、家族に迷惑を掛ける様になるから考えて見たい。

・自然の死が望み。

・最後の葬儀は最低限にしたい。

・終末の際にかかりつけ医が直に来てくださるのかどうか、不安です。

・娘と話し合っている様なことであった。

・最後の事で、割り切れない事柄ですが、一般高齢化した市民の方には、今回の講演内容は良かったと思います。

・Q&Aも良かったです。

・看取り浸透していきたいです。

・母と話し合いをしてみます。

・家族との話し合いをしたいと思います。

・今までの考えを改める機会になりました。

・市内には訪問診療をしてくれる医師が少ないと思います。

・看取りもなかなか出来ない状況です。

・貴重な講演ありがとうございました。

・帰って主人に話したいと思います。

・娘あての勉強会で興味がありました。

・自分の生き方なのだと思います。

・夫と話し合いが出来れば良いと思っています。

・終末期は在宅でと思います。

・びんぴんころりで終われる様頑張ります。

・毎日楽しく元気に生活します。

- 話の展開が早くて、ついていけなかった。
- 自分で考えることがない。
- 最近は何診されるお医者さんがあまりおられないようです。
- 最後の質問が良かった。
- 医大、済生会に通院投薬を受けている。
- 参考になりました。
- 医師の往診体制を整えて欲しい。
- 家族の人と話し合いで決める。それまでに自分の考えをしたためておこうと思っている。
- 考えなくてはいけない事だが、正直なところ考えたくない気持ちがあります。分かりません
- 家で家族を看取りたい方はたくさんおられます。でも、境港市内には往診(土日夜間)をしてくださる方がほとんどありません。
- 思い残すことがないように余生を楽しみ心ゆくまで身体に気をつけて日々を送りたい。
- 本日の講演は、気持ち的に、今後の安心を得ました。
- やっぱり、在宅医療が一番良いと思う。
- 人間関係が一番幸せは本当です。
- 理想は寝たきりにならない、もしもの時は、延命治療はいらない、とにかく苦しめない、痛くなく逝きたいです。
- 私は15年前に95才の老母を見送りました。安心して一生を終えたことを良かったと信じています。
- すばらしい内容でした。
- 今は良い方法が見つからないが、その時期がきたらどんな方法が良いのか考えていきたい
- 毎日の生活を大事に生きることの大切さが分かりました。
- 地域包括支援システムを充実させて下さい。
- 老人が多い会には、要約筆記の用意があると良いと思います。
- 講演内容の小冊子があればなおよかった。
- グラフが分かりづらい。
- 死んだ後の僧侶の説明で先々を恐れる人もいます。(天国、地獄)
- もう少し具体的な話が聞きたかった。
- 市民会館、イヤホンを有料でも考えて見て欲しい。
- スライドの字が小さい。
- 折角の興味がある講演でしたが、マイクの効果がなく、内容の半分以上が聞き取れませんでした。
- 講師の話し方が若干早くて、聞きとりにくい。(自分の聴力の問題もあると思うが。)
- 良し人間関係が上手にあの世へ逝くためなののでしょうか
- 夜間の死亡などの場合、家族で呼吸停止を確認し、翌日死亡診断等は可能でしょうか？
- かかりつけ医をどうやってつなげていくのか？
- 在宅医療を希望してもできるのでしょうか？